おひさま新聞

2025，4，30

☆幼児期に育てたい１０の姿≪自然との関わり、生命尊重編≫

ひかり幼稚園では、シマミミズを飼っています。環境問題と並行して、人権保育の視点からも当番活動を見直して取り組んでいます。

一般的にミミズは、気持ち悪いもの、触りたくないというイメージをもたれがちです。身近な活動経験からこのような意識も変わっていってほしいと願いをもって取り組んでいます。

シマミミズ（釣りの餌になっているもの）は、食べ物を分解し、土の環境を整え、排泄物は植物が育つ栄養となります。

『果物の皮など捨てればゴミとなって、みんなの地球が汚れるけど、ミミズにあげると栄養の土となって、きれいな地球を守れるんや！』と、子どもたちと共に続けてきている取り組みです。

例年ミミズの当番は４歳児が担当しています。子どもたちにとっては、「科学への興味」の一歩になったり、当番活動を通して、友だちと協力することを知ったり、ルールがあることを学んだり・・・とたくさんのことを学習できる活動です。自然との関わりを深め、生命の尊さにも気づいてほしいと願っています。

『ミミズって、すごいねんなぁ』という見方に変わり、子どもと一緒に興味関心を深めてもらえたら嬉しいです。

４月２４日にミミズの土を入れ替えました。

「ポットくんとミミズくん」や「みみず」の絵本を通して、ミミズについて詳しくなった子どもたち。おとなになるとマフラーみたいにわっかができること、ミミズの体の中には雄と雌が両方あるので、みんな卵を産めることや、たまごはレモンの形をしている事、卵一つから２０匹生まれる事などを知りました。古い土からミミズや卵を見つける時に、「マフラーある！これは大人やな。こっちは小さい！赤ちゃんや、可愛い～」「卵、ほんまにレモンの形してる！」など話をしながら長い時間集中して探しました。新しい土にミミズと卵を戻しミミズの土の入れ替えは終わり。古い土には栄養がたっぷりと含まれているので、畑の土に混ぜて野菜などを育てていきます。

最後までミミズを探しています。

シマミミズが食べた後のりんごを見せています。
「皮しか残っていない！すごい！」

４月２８日に畑の土づくりをしました。

栄養たっぷりのミミズの土と更に栄養になる石灰や、堆肥をプラスで入れ畑作りをしました。年長、年中は何の野菜を育てたいか話し合って決めました。大きく育つように一生懸命混ぜましたよ。GW 明けに野菜の苗を植えたいと思います。

- すみれ組…ズッキーニ、きゅうり、トウモロコシ、パセリ
- ひまわり組…ヤーコン、トマト、トウモロコシ
- りんご組…かぼちゃ、ピーマン、さつま芋

「野菜の赤ちゃんを植えるからね」とりんご組に優しく声を掛けています。それを聞いて土を耕しています。

「次〇〇ちゃんだよ」とスコップを渡しています。
今までしてもらってきた、優しさや見守り、思いやりを年下の子にしています。

「がんばって土づくりしたよ」